

## 第9章 関連文化財群の設定

### 1 関連文化財群の設定の目的と考え方

#### (1) 関連文化財群とは

関連文化財群とは、文化財の指定・未指定に関わらず様々な有形・無形の文化財を歴史文化の特徴に基づくテーマによって一定のまとまりとして捉えたものです。群を構成する複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用する枠組みになります。1つのまとまりを群として扱うことによって、単体の文化財では評価することが難しい未指定の文化財について、構成要素で扱うことによって価値づけを高めていくものです。

#### (2) 関連文化財群の設定目的

本市の歴史文化の特徴をいかした文化財の総合的・一体的な保存と活用を図るため、歴史文化の特徴に基づいて関連文化財群を設定します。

関連文化財群を活かした整備・普及・情報発信などの各種取り組みを推進することで、身近にある文化財に対して、地域の人々の理解や関心を高めるとともに、市内外へ文化財の魅力を発信し、街づくりや観光資源、郷土愛の醸成に寄与することができます。

#### (3) 本市の関連文化財群

第3章2では、本市の歴史文化の特徴として「台地と谷津の恵みが生んだ人々の暮らし」、「矢木(八木)からはじまる流山の中世」、「馬から人へ 開墾と開発 小金牧の営み」、「みりんや水運で栄えた流山本町」、「水の恵みと自然 利根運河」、「豊かな農耕神事 いのりとまつり」の6つの特徴に設定しました。本章では、これら6つの歴史文化の特徴を持った文化財群を「時・人・モノ 流れでつながる6つのストーリー」とし、これを「関連文化財群」として位置づけ、保存と活用に関する課題と方針、その措置について掲載します。

## 2 時・人・モノ 流れでつながる6つのストーリー

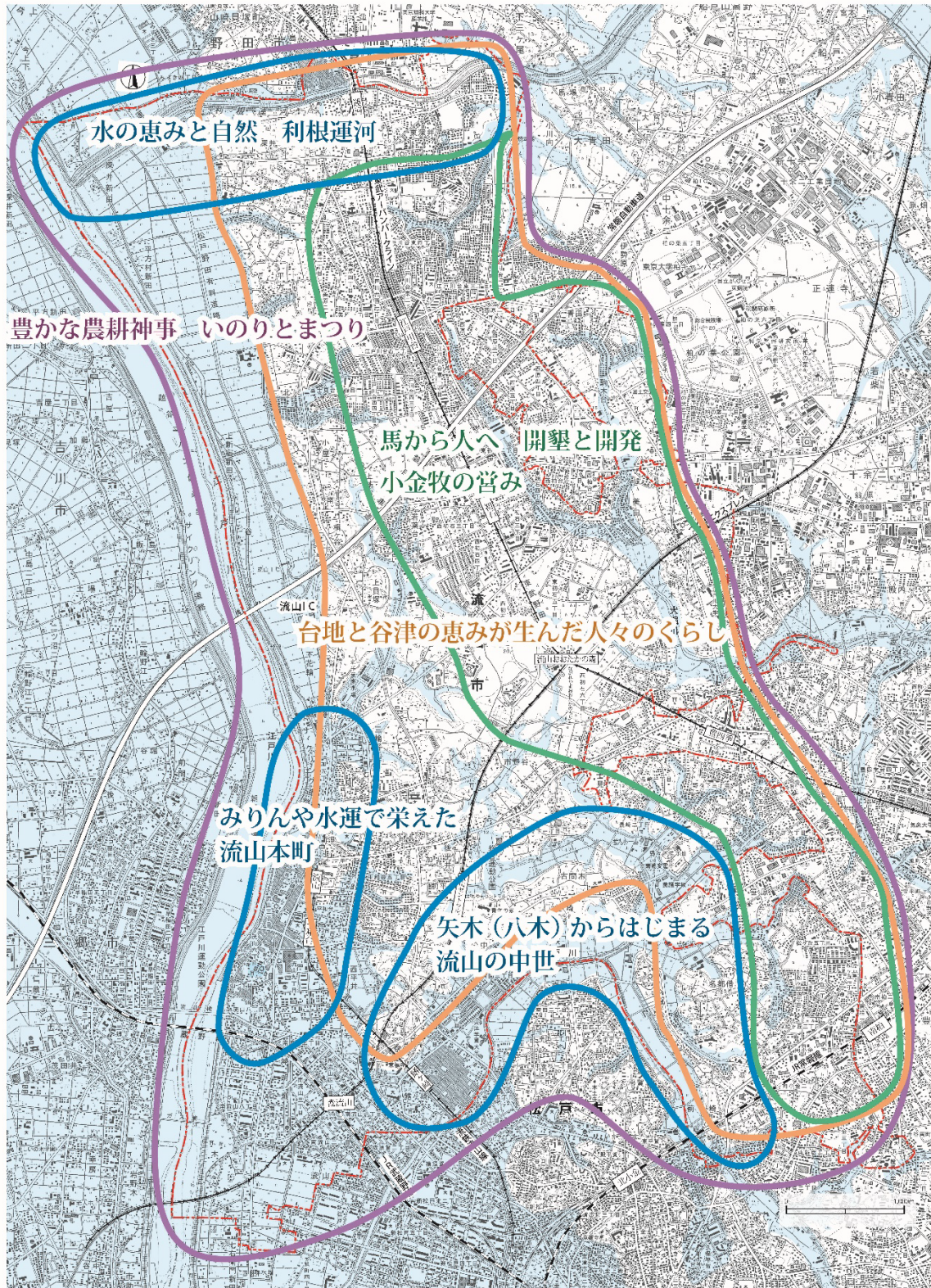


図 16 市内の6つのストーリー